

米国製薬メーカーや薬学生との交流を通じて

JIU 薬学部国際教育の一環として、米国 UCR-JIU Pharmacy Internship Program 2011 (2月20日～3月6日) を行いました。本日は、研修プログラム2週目の様子をメンバーの感想を交えて報告します。

(1) Watson Pharmaceuticals と Adam Nutrition 訪問

後発医薬品メーカーの Watson Pharmaceuticals Inc. と栄養サプリメントメーカー Adam Nutrition inc. では、扱う原材料の人体への影響が異なるためか、作業員の服装もかなり異なっていました。あるセクションで見学した宇宙服と思うような防護服を着て原材料を計量・加工している様子は印象に残りました。

- ・ 今日、Watson Pharmaceuticals と Adam Nutrition に訪問しました。薬を作る工程では、授業で習った混合機なども実際見ることができて感動しました (T.N.)。
- ・ 海外研修 10 日目。この日は、直接薬剤師と話す機会はなかったが、今までと違い製薬メーカーで錠剤やカプセルなどが、原材料からどのように作られるか知ることができ良い経験になった (M.O.)。



(2) Jay 先生による英語での OTC 薬服薬指導演習

「国際空港内にある薬局で勤めるあなたは、OTC 薬を求めて来られた外国人に英語でどう対応するか？」 実際、アメリカで売られている OTC 薬のパッケージを用いて、患者との相談指導の仕方を丁寧にご指導していただきました。最後は2人1組になり、英語で服薬指導のロールプレイができるまでになりました。

- ・ Jay 先生からは英語での患者対応について教えていただきました。3年後期に行った医療薬学系実習において模擬患者を相手に患者対応を学んだため、大丈夫だと思っていました。しかし、英語になったとたんに難しく感じました。まだまだ練習が必要みたいです (Y.M.)。



(3) Randy Sakaguchi, PharmD.の講演

Sakaguchi 先生は、小売店薬剤師としてのやりがいや人生観を私たちに話してくださいました。また、薬剤師として Pharmacy technician とのコミュニケーションも大切にして、患者さんやお店の経営維持のために何をすべきか常に考えて行動してきたことも教えていただきました（右下の写真は、Pharmacy technician である Kimberly Lopez 先生と講演後の集合写真）。

- ・ CVS Pharmacy (UCR 海外研修 Vol. 3で紹介)から Dr. Randy Sakaguchi をお迎えして、仕事、家族、子供の成長、そして、退職後の人生などたくさんのお話をして下さいました。その中で、私は、「自分に自信を持つこと！仕事を楽しむこと！」これが一番だと話されたことが印象に残りました。Sakaguchi 先生は、自分の仕事に誇りを待ち、楽しんでいる様子が伝わってきて、とても素敵だなと思いました。私もそんな仕事に就いて、自信を持てたらいいなと思いました (Y.M.)。

(4) Western University of Health School

Western University の薬学部内を案内していただいた 2 人の薬学生とメンバーが歩きながら会話している光景がありました。「アメリカの薬剤師は、なぜ社会的信頼が高いの？ なぜ、薬剤師になろうと思ったの？ 大学の勉強は大変？」そんなことを会話していたのかな。

- ・ カルフォルニア州での Pharm D.コースでは、1,500 時間の実務研修を行う必要があります、そのうち 900 時間は自分で研修先を見つけて行くそうです。日本では 5 年生になって初めて実務研修に行き、薬剤師の仕事を経験しますが、それがアメリカ・カルフォルニア州では 1 年生から行えるので、早い段階から自分の将来の進路を考える上でとてもすばらしいと思いました (S.N.)。



(5) 参加メンバーの日記から

- ・ 授業の後、ホストマザーがスーパーへ連れて行ってくれた。色々なところへ行き、アメリカの様子が分かってきた。ホストファミリーが何を言っているのかもすぐ理解できるようになってきたが、研修終了まであと1日となった。寂しい気もするが、やっぱり日本食が食べたい (M.N.)。
- ・ 3月1日(水) 晴：午前の施設訪問後、昼食をワイン畑そばの公園で、みんなで食べました。大自然の中で食べるランチは格別でした。ここには小さなワインショップもありワインテイストもできました。午後からは、サプリメントなど健康食品を製造しているAdam Nutritionに訪問しました。ガウンを着て工場内を見学させてもらいました。また、質問もたくさんできて非常に有意義な時間を過ごせました (S.K.)。

(6) Certificate Ceremony

修了書授与式を明日に控え、2週間の研修プログラムで学んだことや、これからの抱負を英語で表現してみようと呼びかけました。直前まで英文原稿を確認するメンバーもいました。しかし、いざ演台に立つと堂々と自分の思いを話し、耳を傾けていた人たちからは笑いやうなずきの声が上がっていました。「伝わっているよ！」ビデオを撮影しながらうれしく思いました。

米国 UCR-JIU Pharmacy Internship Program 2011 は、メンバーにどのようなことを気づかせたのでしょうか？異国文化に身を置くことで、日本のことをもっと知りたいたいと思う気持ちや異国の薬剤師を自分の目で見ることで、日本の薬剤師や将来の薬剤師像について考える機会を得ました。これからの学生生活において、自信や新たな目標が生まれたことを願いレポートを終わります。

最後になりましたが、本研修プログラムは、日米両国で多くの方のサポートにより無事終了することができました。心より感謝申し上げます。 (田嶋公人)

